



新しい年を迎えました。新年早々、新型コロナウイルス感染症の感染者増加とインフルエンザの流行も報道されています。旅行などの規制も緩和されてきたとはいえ、新型コロナウイルス感染症への不安や心配はなくなりません。マスクをせずに過ごしていた日々が、一日も早く戻ってくると良いですね。

今月は、中学・高校の入試があります。そのため入試に関係する休日あります。そんな時間を読書に使ってみましょう。

<今月のおすすめ本>

「#真相をお話しします」

結城 真一郎／著

新潮社/刊

今回紹介する本は、ミステリー好きの人にオススメの本です。
様々なテーマの短編が5作品収録されています。短編集なので目次を見て興味のある作品だけを読むこともできます。でも、どれも読み始めると、話の先が知りたくて止まらなくなると思いますよ。ミステリーを読む時は「こんな展開になるのかな？」と想像しながら読むことが多いと思いますが、どの作品も予想以上の展開が待っています。普通、最初の1～2編の作品を読むと、著者の傾向がわかるものですが、この作者については、最後の作品を読み終わるまで「どんでん返し」の連続です。

長編作品にみられる、様々な伏線が張り巡らされ、それが終盤に向けて一つ一つ解明されていくのも面白いですが、「長編」というだけで敬遠してしまう人も居ると思います。そんな人は、短編集のこの本で「スカッ！」としてみませんか？

